

製品名: S100B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80609**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	S100B
別名	NEF; S100; S100beta
遺伝子 ID	6285.0
SwissProt ID	P04271
免疫原	大腸菌で発現した S100B の精製された組み換え断片。

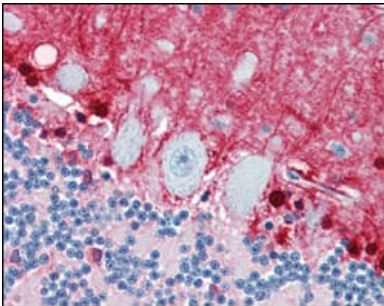
背景

S100B (S100 カルシウム結合タンパク質 B) は、2つの EF ハンドカルシウム結合モチーフを含む S100 タンパク質ファミリーのメンバーです。S100 タンパク質は、幅広い細胞の細胞質および/または核に局在し、細胞周期の進行や分化など、多くの細胞プロセスの

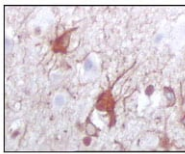
調節に関与しています。S-100 タンパク質とパルプアルブミンタンパク質はそれぞれ神経組織で発現しています。さらに、S100B は他の様々な組織に存在し、カルビンジンは腸管および腎臓に存在します。パルプアルブミン B は、多くの腫瘍組織およびコルチ器に見られます。カルビンジン、S-100 タンパク質、およびパルプアルブミンはすべて、ライディッチ細胞および精巣で検出されています。これらのタンパク質は、ホルモン産生および精子形成において役割を果たしていると考えられています。この遺伝子の染色体再編成および発現の変化は、アルツハイマー病、ダウン症候群、てんかん、筋萎縮性側索硬化症、黒色腫、および 1 型糖尿病を含む、いくつかの神経疾患、腫瘍性疾患、およびその他の種類の疾患に関係していると言われています。

研究分野

画像データ



S100B マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト脳、小脳の免疫組織化学分析。



パラフィン包埋ヒト脳 (A) およびヒト胸腺組織 (B) の免疫組織化学分析。DAB 染色による S100B マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。

